

Eureka VI

六年制通信 No. 23 平成 30 年 11 月 16 日 (金) 号

マザー・テレサ

マザー・テレサが亡くなってもう 20 年ですね。

オウム真理教の事件があったとき、宗教の本物か偽物かを見分けるにはどうすればいいかという問題が、マスコミで結構取り上げられました。例によって、専門家でも何でも無い人々がわけ知り顔でつまらんことを言い合っていました。中の一人が、(誰か忘れましたが)「マザー・テレサのような人を生み出すような宗教は本物だ」と言っていました。それがものすごく印象に残っています。聖書には「木はその実によって知れり」という言葉があります。マザー・テレサのような実を結ぶのであれば、その木は本物だというわけですね。

彼女は旧ユーゴスラビアの出身で、若くしてインドに渡ります。カルカッタの聖マリア学院の校長になったのが 34 歳の時ですから、かなりのインテリですよ。終生誓願の宣立は 27 歳のとき。一生を修道会の規則にしたがって生きるという誓です。ところがあるとき「貧しい人のうちで最も貧しい人のために働くよう」との神の啓示を受けたと、これはテレサ自身が語っているのですが、つまりカルカッタのスラム街へ自分には行かなくてはならないという思いに駆られるわけです。しかし、修道院の外で暮らすにはローマ教皇の許可が必要です。普通は無理です。しかし彼女の本気は教皇を動かしたのです。その後、路上で汚物にまみれ、ただ死にゆくだけの人々に対する彼女の献身は世界の知るところとなります。皆さんも見たたり聞いたりしたことがあるのではないですか。ノーベル平和賞のスピーチも彼女は質素なサリーを身にまとい、普段履いている草履で行っています。確かお祝いのディナーも断って帰ったのではなかったか。私は昔、彼女の活動を映像で観たことがあるのですが、彼女を慕ってカルカッタに来た若い修道女たちのはつらつとした仕事ぶりと質素な食事と美しい笑顔をよく覚えています。マザー・テレサは死後、異例の早さで聖人の列に加えられています。それには、カトリックにおいては奇跡の認定が必要なのですが、私はその内容に興味はありません。彼女の存在が奇跡のように感じるからです。

そんなマザー・テレサの残した言葉を君たちに紹介したいと思います。

Be careful of your thoughts, for your thoughts become your words;

Be careful of your words, for your words become your deeds;

Be careful of your deeds, for your deeds become your habits;

Be careful of your habits, for your habits become your character;

Be careful of your character, for your character becomes your destiny.

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。

私はこれが一番好きです。昔、プロ野球の有名な監督だった野村克也さんが、これを読んだのかどうかは知りませんが、似たようなことを言っていましたね。それも紹介しておきましょう。

心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。
人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。

野村さんは「心→態度」、マザー・テレサは「思考→言葉→行動」ですが、私はもちろん「言葉」の力を見て取った彼女の方が好きですね。よく「思考から行動へ」と言われますよね。その間に「言葉」を入れた彼女のセンスに感服します。

また、彼女の言葉とさかれていて、実はエリ・ヴィーゼルという作家がノーベル平和賞受賞のスピーチで述べた言葉があります。

愛の反対は憎しみではなく無関心である。

The opposite of love is not hate, it's indifference.

いかにも彼女が言いそうな言葉ですね。私はこの **indifference** は「何とも思わないこと」と訳すべきだと思っています。ヴィーゼルは、美の反対は醜さではなく **indifference** である、とも言っていますから。「無関心」ではしっくりきませんよね。心が何も感じなくなることの恐ろしさを表わす言葉だと私は解釈しています。皆さんはどう思いますか。皆さんの心はいろんなことを感じ取っていますか。

今週のおすすめ

・落合信彦 『アメリカよ！ あめりかよ！』 (集英社文庫)

この人が出たアサヒスーパードライの CM を覚えているのはどの世代でしょうか。懐かしいなあ。「現代の魔術師」と呼ばれ、よくメディアにも出ている落合陽一さんのお父さんですね。全然似てないけど。

私はこの本を大人になってから読みましたが、高校生くらいで読んでいたら、ひょっとしたら激しく影響されたかもしれない、そう思えるくらいわくわくする本です。アルゼンチナ号、この名前はいまでも覚えています。落合さんがアメリカへほとんど密入国みたいに乗り込んだ船の名前です。

英語の勉強のために映画館で鉛筆の先に豆電球をつけて…、などというエピソードや様々な武勇伝は(たぶんかなりの誇張があると思いますが)本当に面白い。チョコちゃんじゃないけれど、ポーッと生きてんじゃねーよとされている気になりますよ。若いうちにご一読を。へんに影響されても知りませんが。

BGMはMISIAの *Everything* でした…。